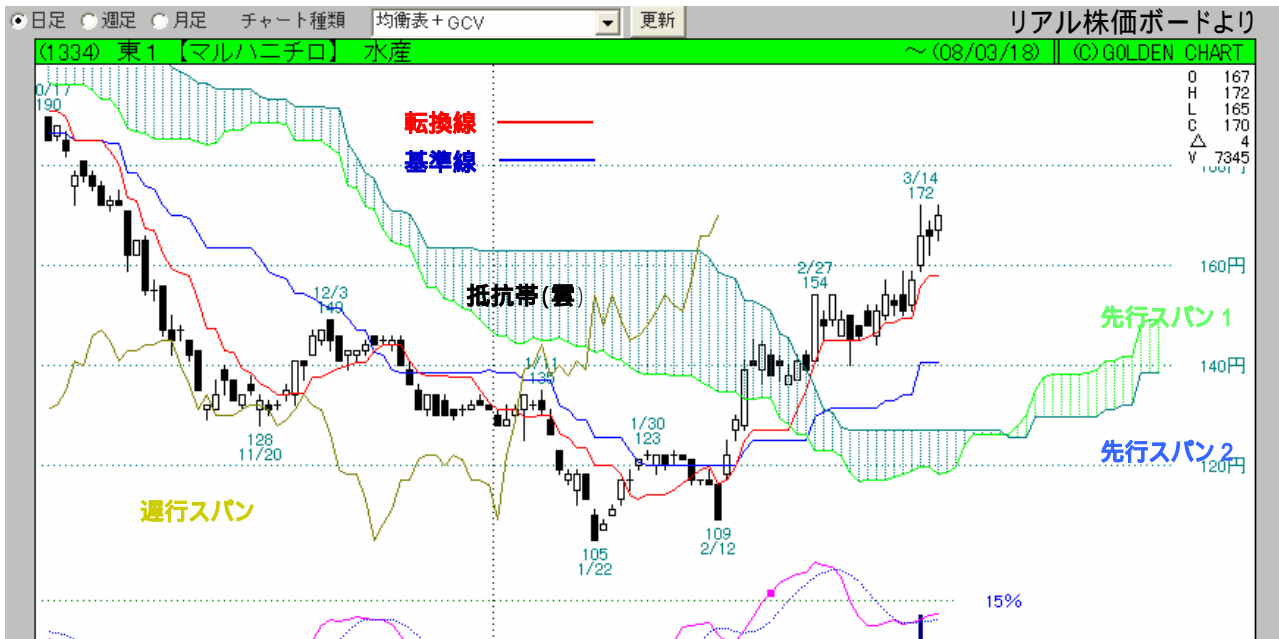




## 一目均衡表(11)実践的売買ポイント【1】

Vol.56 2008/3/21



ここまで一目均衡表で使われる「線の関係」や「三大骨子（波動論、値幅観測論、時間論）」について説明してきました。ここからは一目均衡表を利用するときの**売買のポイント**をまとめていこうと思います。一目均衡表では、上昇・下降ともに「最終的な形」が決まっています。それは「線の順序」です。どのような経緯で「最終的な形」に到達するか見ていきましょう。今回は「買い」のパターンです。

下降トレンド継続中の線の順序は、上から抵抗帯(雲)、基準線(青線)、転換線(赤線)、実線(ロウソク足)、一番下が運行スパン(黄土色)となります。これが上昇に転じて継続すると、**上から運行スパン、実線、転換線、基準線、一番下が抵抗帯と変化**していきます。ここを踏まえてどのように変化していくか見ていきましょう。

#### 買いのポイント

長期間続いた下落が1月22日で底を打ちました。1月22日から1月30日の上昇で、転換線や基準線の向きが変化するのが予測できます。1月30日から2月12日まで下落しましたが安値を更新せず、**2月13日に実線が転換線・基準線を上抜けています。これが第一の買いのポイント**になります。2月13日は高値125円なのでN波動が形成されたことが確認できます。ここから時間と値幅観測についても考えていかなければなりません。ここでは時間に関して基本数値(9、17、26等)を使って考えてみます。値幅を計算すると、N計算値が127円、V計算値が137円、E計算値が141円です。これらの計算値と基本数値などの時間がほぼ重なるところは転換しやすいといわれていますので注意してみてください。

**2月14日に転換線が基準線を上抜け好転が発生。これが第二の買いポイント**になります。ちなみに安値から16日経過しており、N計算値の127円に到達しています。

**2月15日に運行スパンが実線を上回り好転。同時に実線が抵抗帯に入ります(先行スパン1の突破)。これが第三の買いポイント**となります。安値から17日経過、V計算値137円とE計算値141円に到達しました。計算値と基本数値の日数が一致しています。変化が起りやすい(ここでは抵抗帯に押し戻されるか、突破か)と考えられるので翌日以降の動きに十分注意していかなくてははいけません。

**2月26日に実線が抵抗帯を突破(ここで三役好転)。これが第四の買いポイント**になります。この時点で、上から運行スパン、実線、転換線、基準線、抵抗帯の順になります。安値から24日後でした。ここから上昇トレンドが継続と考えます。ここからは値幅観測や時間についてを繰り返し、売り時を計っていくことになります。

( )このケースでは ~ の順に変化していますが、必ずしもこの順番で起こるわけではありませんのでご注意ください。

次回は上昇から下降に転じるパターンをみていきましょう。

Copyright (C) 2008MARUSAN - SEC.All rights reserved

簡単・安心・お得

めぐもりあるオンライントレード

丸三証券の③トレード

## 金融商品取引法に基づく重要な注意事項

〔当社の概要〕 商号等：丸三証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号  
加入協会：日本証券業協会

〔手数料等の概要〕

### 上場有価証券等に関する手数料等の概要

- ・「一日コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.084% (30 万円以下の場合 252 円) の委託手数料をいただきます。
- ・「銘柄コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (20 万円以下の場合 210 円) の委託手数料をいただきます。
- ・「夜間取引」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100 万円以下の場合 1050 円) の委託手数料をいただきます。
- ・上場有価証券等のうち転換社債型新株予約権付社債(CB) の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100 万円以下の場合 1050 円) の委託手数料をいただきます。
- ・株式を募集・売出し等により取得する場合は、購入対価のみのお支払となります。
- ・信用取引により株式等を売買する場合は、上記委託手数料とは別に、委託保証金として売買代金の 40% 以上かつ 30 万円以上の預託が必要となります。その他に管理費及び権利処理費等をいただきます。また新規買付の場合、買付代金に対する金利を、新規売付の場合、売付株券等に対する貸株料及び品貸料をいただきます。

### 投資信託に関する手数料等の概要

- ・投資信託の購入等にあたりお客様にご負担いただく費用として、申込手数料(申込時に直接ご負担いただく費用)、信託財産留保金(換金時に直接ご負担いただく費用)、信託報酬(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)などがあります。
- ・これらの費用は商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご確認ください。

〔リスクについて〕

### 上場有価証券等に関するリスク

- ・株価の変動等により損失が生じる恐れがあります。外国株式は、為替相場の変動等により損失が生じる恐れがあります。
- ・転換社債型新株予約権付社債(CB)は価格の変動等により損失が生じる恐れがあります。また権利行使できる期間や条件に制限があります。
- ・信用取引では委託保証金の額に対して最大 2.5 倍の投資が可能です。したがって信用取引においては損失の額が預託した委託保証金の額を上回る可能性があり、投資元本以上の損失が生じる恐れがあります。

### 投資信託に関するリスク

- ・主な投資対象が国内株式である投資信託の基準価額は、組み入れた株式の値動きにより上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が円建て公社債である投資信託の基準価額は、金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより上下しますので、これにより元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が株式・一般債にわたっており、且つ、円建・外貨建の両方にわたっている投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・これらのリスクは商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご覧ください。

〔契約締結前交付書面等について〕

各商品等のご購入のお申込にあたりましては、当社より所定の契約締結前交付書面(投資信託においては目論見書及び目論見書補完書面)を交付いたします。書面をよくお読みいただき内容を十分にご理解いただいたうえでお申込いただきますようお願いいたします。